熊本県救護施設協議会

熊救協

2007年6月号

しらがね寮　施設長　一　安　俊　範

初夏の候、皆様におかれましては、ますますご健勝のこととお喜び申し上げます。

前施設長の退職に伴い平成19年4月1日の職員人事異動により施設長の職を引き続ぐことになりましたが今後とも今まで以上にご指導の程よろしくお願いします。又このような場でご挨拶の機会を創っていただき誠に感謝申し上げます。

さて、救護施設は、憲法第25条の理念と生活保護法第38条第2項に規定された施設で生活扶助を行うだけでなく、意向に沿った自立支援を行い利用者の生活向上及び更生を図り、様々な生活課題を有する利用者に支援を行うという特長を生かして機能を発揮しながらそれぞれのニーズに対応できるよう必要な人に、必要なサービスを提供できるような施設を目的としております。

一方近年、入所者の高齢化や障害の重度化がますます進む中、施設職員への負担が増大になる現状も現実であり今後の課題のひとつでもありますが県、各福祉事務所及び熊救協等の意見交換の場を密にし救護施設の役割を果たすべく努力して参りますのでよろしくお願いします。

友愛会銀杏寮　施設長　本　山　雅　徳

はじめに、簡単な自己紹介をさせていただきます。昭和63年4月に友愛会銀杏寮に指導員として採用され、3年2ヶ月勤務した後に、友愛会母子寮（現はばたきホーム）の施設長で異動し、母子家庭の父親役として共に泣き、笑い、喜び、時には叱り励まし合って参りましたが、本年2月1日付で銀杏寮に帰って参りました。

母子生活支援施設では平成5年から17年までの12年間、全母協の常任協議員として勤めさせていただいたおかげで法律的にもいくらかは詳しくなり、入所している母子にとって安心・安全な生活を送ってもらう為の環境整備はどのようにすれば良いのか、又、障がいを持つ母子の入所増加に対しては人的配置をどのようにすれば良いか等、いつも考えながら施設運営に携わって来ました。ところが、銀杏寮では異動して来たばかりで入所者の顔と名前がなかなか一致せず、間違えたら失礼になると、皆の中に入っていくのをかなり躊躇もしましたが、毎朝の「おはよう」の挨拶と帰りの「また明日ね。さようなら」の挨拶を続けていくうちに、やっと、全員の顔と名前を覚えることが出来、人と人との付き合いはやはり、挨拶と笑顔と信頼に尽きると思いました。嫌なことがあっても笑顔を絶やさず（最も苦手とするところですが）自分の言動に責任を持ち、入所者、職員、地域の方々から信頼を得ること、このことを常に念頭に置きながら信頼の輪を広げていきたいと思っています。これからすべてが勉強の毎日です。皆様どうぞよろしくお願い致します。

施設名	施設長名	所在地	定員	開設年月日	電話番号
友愛会銀杏寮	本山　雅徳	熊本市春日５丁目１７番３６号	６０	S35. 12. 1	096-352-6602
千草寮	大堀　伸治	八代市千丁町太牟田2618	５０	S36. 7. 6	0965-46-0032
しらがね寮	一安　俊範	球磨郡あさぎり町上西835-2	５０	S43. 4. 1	0966-45-6668
天草園	三宅栄一郎	天草市河浦町宮野河内3662-2	７０	S43. 12. 10	0969-78-0053
菊池園	林田　　瑛	菊池市泗水町吉富17-1	５０	S47. 10. 11	0968-38-2956
野坂の浦荘	永山　惠一	葦北郡芦北町大字田浦町358-2	５０	S55. 5. 1	0966-87-2277
真和館	藤本　和彦	阿蘇郡西原村大字鳥子3072	５０	H18. 4. 28	096-279-1121

役職員名簿

役職名	職名	氏名	施設名
会　長	施設長	林田　　瑛	菊池園
副会長	施設長	永山　惠一	野坂の浦荘
監　事	施設長	大堀　伸治	千草寮

事業検討委員会

役職名	職名	氏名	施設名
委員長	施設長	大堀　伸治	千草寮
副委員長	生活支援員	松中　直人	天草園
委員	相談員	渕上慎一郎	銀杏寮
〃	生活指導員	溝口美和子	しらがね寮
〃	介護支援員	蓑田　正人	菊池園
〃	指導員	平塚　文博	野坂の浦荘
〃	介護職員	森田　良治	真和館

研修委員会

役職名	職名	氏名	施設名
委員長	施設長	一安　俊範	しらがね寮
副委員長	生活支援員	蒔本　健作	天草園
委員	介護ｽﾀｯﾌ	齊藤あかね	銀杏寮
〃	介護職員	木村　祐子	千草寮
〃	栄養士	濱﨑りう子	菊池園
〃	介護支援員	中村　純代	野坂の浦荘
〃	介護職員	田上雄次郎	真和館

調査・研究委員会

役職名	職名	氏名	施設名
委員長	副施設長	三宅　浩徳	天草園
副委員長	生活支援員	冨田　竜二	菊池園
委員	主任	松尾　　歩	銀杏寮
〃	介護職員	大嶋みやこ	千草寮
〃	生活指導員	山富　功一	しらがね寮
〃	介護支援員	横尾ひとみ	野坂の浦荘
〃	生活指導員	田浦　久美	真和館

熊救協2007　No10　編集後記

今回、熊救協調査・研究委員会に参加させていただくことになり緊張とワクワクした気持ちでいっぱいです。私は昨年４月、真和館開設と同時に社会人としての第一歩を踏み出し、毎日が驚きの連続でした。今年の４月からは生活指導員となり新たな仕事に挑戦。これまで以上に気を引き締め、今後たくさんのアンテナを張り、先輩方のスキルを見て勉強させていただき、これからの自分の肥やしにして行きたいと思います。よろしくお願いいたします。《熊救協調研委員：田浦久美（真和館）》

編集：熊本県救護施設協議会
調査・研究委員会
発行：熊本県救護施設協議会

事務局：〒861-1201　熊本県菊池市泗水町吉富今寺17-1
菊池園　Tel（0968)38－2956
Fax(0968)38－6017

事業検討委員会

【平成１８年度事業報告】

施設利用者の高齢化・重度化に伴い、１７年度より年間１事業に縮小。１８年度は、大分・熊本ゲートボール交流会の担当年により、６月に救護施設交流会を計画し、計画通りに実施出来た。

救護施設交流会

大分・熊本ゲートボール交流会の熊本県担当により、救護施設交流会として植木町の荒木観光ホテルで実施。たくさんの利用者が参加出来るよう、ゲートボールだけでなくグランドゴルフの２種目とし、大分県より約３０名、福祉事務所とボランティアで３０名超、総参加者２２９名で盛大に実施する。ゲートボールは、今回も近年たいへん安定した強さを誇る菊池園が優勝し連覇を達成。グランドゴルフは、天然芝の本格的なコースを、福祉事務所と利用者が一緒に競技し、普段では出来ない交流が図られ、とても楽しく有意義な大会となった。

【平成１９年度事業計画】

４月に救護施設交流会を計画。６月の大分・熊本スポーツ交流会については、大分県担当により、事業検討委員会の事業としては取り扱わず、各施設の自由参加とする。

救護施設交流会

４月に、雨天時でも心配不要なパークドームにて計画、福祉事務所やボランティアを含めた３００名近くの参加により、予定通り実施する。内容は、グランドゴルフとニチレクボール。グランドゴルフは、福祉事務所を含めて１２２名が参加、今回はホールインワンがたくさん出る等たいへん盛大の中に終了する。ニチレクボールは、施設長チームが圧倒的な強さで予選を勝ち上がり決勝に残る等、仕事を忘れた活躍にたいへん盛り上がり、銀杏寮チームが優勝する。
グランドゴルフボランティア協会並びに福祉事務所の皆様方のご協力、誠にありがとうございました。

事業検討委員会

年２回(５月・２月)予定。

研修委員会

【平成１８年度事業報告】

職員研修会開催

第1回　H18年6月13日　みゆきの里「和楽」にて
　午前　講話「生活保護の動向について」講師　県社会福祉課　課長補佐　木村様
　午後　講話「個人情報保護法について」講師　弁護士　由井様
第2回　H18年10月26日　みゆきの里「和楽」にて
　午前　講話「精神障害について」　講師　県精神障害者団体連合会　会長　徳山様
　午後　討議　職種別によるグループ討議及びみゆきの里施設見学

研修委員会開催

第1回H18年4月18日(菊池園)、第2回H18年8月29日(野坂の浦荘)、
第3回H19年1月19日(しらがね寮)にて年3回委員会を開催した。

【平成１９年度事業計画】

社会福祉基礎構造改革に伴う利用者の権利擁護、情報公開、サービス評価基準、苦情解決制度等、福祉新時代に対応していくためには、職員の意識改革並びに職員資質の向上が不可欠である。引き続き利用者サービスの質の向上に重点を置き、利用者支援研修を主体的に実施することで、専門職としての資質の向上を図る。

職員研修会開催予定

第1回　H19年6月19日　熊本市総合女性センターにて
　午前　講話「障害者自立支援法と生活保護法の動向及び救護施設の今後について」
　講師　県社会福祉課　有田様
　午後　討議　職種別によるグループ討議
第2回　H19年10月26日
　午前　真和館施設見学　午後　講話「精神障害について」西原村構造改善センター
講師　益城病院　松永医師

研修委員会開催予定

第1回H19年4月25日(千草寮)、第2回H19年8月28日(真和館)
第3回H20年1月18日(銀杏寮)

調査・研究委員会

【平成１８年度事業報告】

熊救協情報誌８号・９号を発行することができ、利用者アンケート追跡調査を行った。前回アンケートの結果と比較し、利用者の意識が変わっていること、施設が利用者に対する利用計画が変わっていることがわかった。

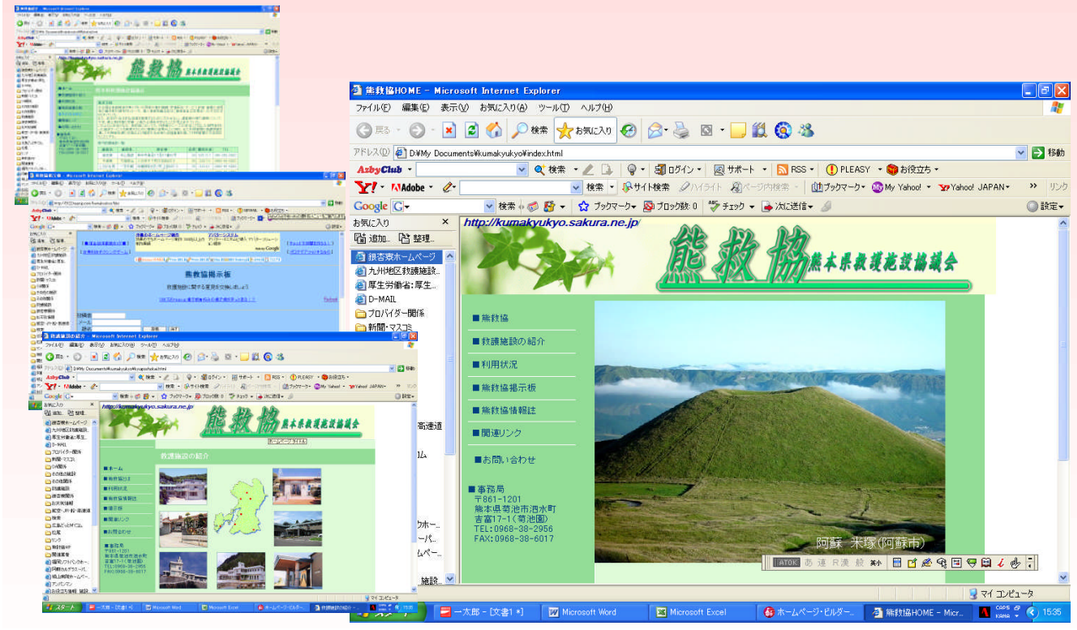
利用者アンケート追跡調査

発送：１５８通　　返送（回収）：１４６通
未回収：１２通（入院、拒否、不明あり）

【平成１９年度事業計画】

・年４回（４月、８月、１０月、２月）の会議実施
・熊救協ホームページの開設

熊救協ホームページの開設について

熊救協調査・研究委員会では、１９年度において「熊救協ホームページ」の開設を予定しています。ホームページには、救護施設に関する基本的な紹介から、熊本県内７つの施設一覧や熊救協の役員一覧、各施設利用者の平均年齢や年齢別一覧・在所期間状況等の利用者基本情報、特に利用者移動状況(緊急受入枠)をリアルタイムに公開し、「各施設の空き状況を取りまとめて欲しい」という福祉事務所のかねてからの要望に対処していきたいと思っております。又、掲示板を設置し、個人情報保護法や自立支援・個別支援計画等に関するＱ＆Ａコーナーを設けますので、利用者サービスの向上を図るツールとして利用して頂ければ幸いです。又、将来的には、熊救協広報誌の掲載も計画しています。関連する全救協や九救協、厚労省のホームページをリンクさせ、必要な情報が得やすいような内容にしたいと思いますので、是非ご活用下さい。

ホームページの作成は、外部の専門業者へ依頼せず、調査・研究委員において作成し、コストの軽減に努めます。作成には専門的な技術や多大な時間を要し、たくさんの資料を要するため各施設のご協力が必要となります。ご迷惑をお掛けしますが宜しくお願いします。